

函館市医療・介護連携推進協議会
多職種連携研修作業部会 第5回会議

日時：平成29年6月12日（月）19：00～

場所：函館市医師会病院 5階講堂

【次第】

1 開 会

2 議 事

○報告事項

- (1) 第2回函館市医療・介護連携多職種研修会について
- (2) 研修情報の一元化と提供について

○協議事項

- (1) 多職種連携研修計画（案）について

3 その他

- (1) 次回の部会日程について

4 閉 会

【配付資料】

- 1 報告事項
- 2 協議事項
- 3 平成29年度 多職種連携研修計画（案）

**函館市医療・介護連携推進協議会 多職種連携研修作業部会
第5回会議 出席者名簿**

※★…部会長および副部会長 ○…幹事

(敬称略)

分野	所属団体	氏名	勤務先等
医療	公益社団法人 函館市医師会	○永澤 潤一郎	公益社団法人函館市医師会 函館市医師会病院事務部
	公益社団法人 函館市医師会	○高柳 靖	函館市医療・介護連携支援センター
	一般社団法人 函館歯科医師会	岩井 祐司 ※欠席	戸井歯科診療所
	一般社団法人 函館薬剤師会	水越 英通	(株)はこだて調剤薬局(昭和店)
	公益社団法人 北海道看護協会 道南南支部	中村 真奈美	社会福祉法人函館厚生院 函館五稜郭病院
	道南在宅ケア研究会	川口 篤也	医療法人道南勤労者医療協会 道南勤医協 函館稜北病院
	函館地域医療連携実務者協議会	船山 俊介	社会福祉法人函館厚生院 函館五稜郭病院 医療総合サービスセンター
	一般社団法人 北海道医療ソーシャルワーカー協会 南支部	★部会長 酒本 清一	独立行政法人国立病院機構 函館病院 相談支援室
	北海道柔道整復師会函館ブロック	齋藤 久剛	整骨院さいと
	函館鍼灸マッサージ師連携会	益井 基	益井東洋治療院
介護	函館市居宅介護支援事業所連絡協議会	★副部会長 中村 清秋	居宅介護支援事業所 ひなたぼっこ
	函館市地域包括支援センター連絡協議会	京谷 佳子	函館市地域包括支援センター ゆのかわ
	函館市訪問リハビリテーション連絡協議会	寺田 昌弘	社会医療法人仁生会 西堀病院
	道南訪問看護ステーション連絡協議会	高畑 智子	訪問看護ステーション オハナ
	道南地区老人福祉施設協議会	齋藤 禎史	特別養護老人ホーム シンフォニー

○報告事項

(1) 第2回 函館市医療・介護連携多職種研修会について

ア 参加人数及び参加状況について（総参加人数255名）

イ アンケート結果について 下記参照

H29.2.11 第2回函館市医療・介護連携多職種研修会 アンケート集計結果 分析

1-1. 開催日時（土曜日の午後）はいかがですか？ N=162

- | | | |
|------------|-----|-----|
| ・良い | 110 | 68% |
| ・どちらともいえない | 45 | 28% |
| ・良くない | 7 | 4% |

1-2. 自由記述の意見等

- | | |
|-----------------|-----|
| ・祝日ではない土曜日の午後希望 | 22件 |
| ・平日開催希望 | 3件 |

2-1. 研修会を受講し、ご自身の理解は深まりましたか？ N=162

- | | | |
|-------------|-----|-----|
| ・深まった | 154 | 95% |
| ・どちらともいえない | 7 | 4% |
| ・あまり深まらなかった | 1 | 1% |

2-2. 自由記述の意見等

- | | |
|---------------------------|-----|
| ・多職種の方の意見を聞けたり，交流できてよかった。 | 18件 |
| ・連携の大切さに気付いた | 9件 |

3-1. 今後もこのような研修を続けて欲しいですか？ N=161

- | | | |
|------------|-----|-----|
| ・続けて欲しい | 156 | 97% |
| ・どちらともいえない | 5 | 3% |
| ・続けなくてもよい | 0 | 0% |

3-2. 自由記述の意見等

- | | |
|------------------|----|
| ・年に数回行ってほしい | 3件 |
| ・頻度や参加人数を考慮してほしい | 2件 |

4. 所属機関をお聞かせ下さい。N = 162

・病院	52	32%	・地域包括支援センター	21	13%
・診療所	9	6%	・介護施設	25	15%
・薬局	5	3%	・訪問リハビリテーション	5	3%
・居宅介護支援事業所	18	11%	・訪問看護ステーション	6	4%
・その他	21	13%			

5. 職種をお聞かせ下さい。N = 168

・医師	3	2%	・柔道整復師	9	5%
・歯科医師	5	3%	・鍼灸マッサージ師	7	4%
・薬剤師	6	3%	・介護支援専門員	30	18%
・保健師	7	4%	・相談員	38	23%
・看護師	41	24%	・その他	16	10%
・理学療法士	3	2%			
・作業療法士	1	1%			
・言語聴覚士	2	1%			

6. その他, ご意見

- ・駐車場がなくて困った
- ・開業医や二次救急（医療側）のスタッフの参加を促してほしい
- ・司会の事前打ち合わせがあると良かった
- ・グループワークの時間がもう少しあっても良い
- ・説明事項がうまく聞き取れなかった
- ・グループ別名簿があると良かった
- ・入退院時のカンファレンスやサービス担当者会議に歯科の介入を希望など

(2) 研修情報の一元化と提供について

- ・ 現在までの報告

○協議事項

(1) 平成 29 年度 多職種連携研修計画 (案) について

ア 平成 29 年度 多職種連携研修計画について確認 資料 3 参照

イ 大規模研修について

- ・ 架空事例のイメージについて検討
- ・ シンポジストを依頼する職種等の検討
- ・ グループワークの進行について確認
- ・ グループワーク内での検討方法及び落としどころについて

ウ 中小規模研修について

- ・ 開催時期や方法についての確認
- ・ 研修の講師について

平成 29 年度 多職種連携研修計画（案）

1. 基本方針

平成 29 年度の研修は『相互理解』をテーマに開催する。

具体的には、関係する各専門職種の職域および仕事内容を知る機会を設けることや、職種を超えた顔の見える関係の構築、また、それぞれの職種の事情を知らないが故に生じている思い違いや誤解の解消等を研修の内容とする。

今年度は、これまで例年開催している大規模な多職種連携研修に加え、同テーマで 4 回の中小規模の研修も開催することとし、医療関係者対象の研修と、介護関係者対象の研修をそれぞれ 2 回開催する。医療関係者には介護側の事情を、介護関係者には医療側の事情を知って頂く機会とする。

医療関係者対象の研修では、外部での研修には参加が難しい急性期病院に勤務する医師なども参加がしやすいよう、その急性期病院を研修会場とするなどの工夫を行い実施することを検討している。

今年度は、すべての研修のテーマを『相互理解』とし、この地域の専門職種間の距離や隔たりを縮め、顔の見える関係の中で更に連携が高められることを目途として、研修を開催する。

また、このテーマは今年度だけのものにとどめることなく、今後も恒久的なテーマとして取り上げ、継続させていく必要があるものと考えている。

2. 研修目標

- 1) 関係多職種のそれぞれの業務内容と役割を理解できる
- 2) それぞれの専門職種団体が交流できる（顔の見える関係作り）
- 3) お互いの役割の理解や、困りごとの解決、お互いが思い描いている誤解の解消

3. 具体案

1) 大規模研修

日 時：平成 29 年 11 月 25 日（土） 14：00～17：00

場 所：花びしホテル（函館市湯川町 1-16-18）

懇親会：花びしホテル（函館市湯川町 1-16-18）

内 容：

- ① 「函館市医療・介護連携支援センター」の実績報告と地域の課題を共有する
 - ・ センターの実績報告に加え、多職種連携を円滑に行うために、医療・介護相互の機能の理解や役割分担について講演（講師：高柳 靖係長（30分））

② シンポジウム形式にて各専門職種を紹介

- ・ 架空の事例を通して自分たちができること、どのように対象者を支えていくことができるのか各専門職種の役割をそれぞれに紹介

(シンポジスト：医師（主治医），歯科医師，薬剤師，看護師，MSW，
ケアマネジャー，包括，訪問看護師，リハ職（訪リハ），
施設職員，柔整，鍼灸マッサージ師，ヘルパー，訪問入浴等）

③ シンポジウムの事例をもとにグループワーク

- ・ 相互理解の必要性について検討

(進行役：未定 (②，③合わせて120分予定))

2) 中小規模研修

(医療関係者側へ)

テーマ：介護関係者側の理解 (制度や職種の職域，介護側の事情等)

日 時：10月，2月それぞれ1回ずつ

場 所：調整中（急性期病院などを予定）

講 師：介護関係者

(介護関係者側へ)

テーマ：医療関係者側の理解

(制度や介護側の疑問の解決，病床機能，医療側の事情等)

日 時：10月，2月それぞれ1回ずつ

場 所：函館市医師会病院 5階講堂，テレシアター（市営函館競輪場）等

講 師：医療関係者

3) 先進的研修との協働

◎ 地域医療支援病院講演会との協働

日 時：平成29年6月28日（水）19：00～20：30

場 所：函館市医師会病院 5階講堂

テーマ：「弘前地区在宅医療・介護連携支援センター『そよかぜ』の舞台裏
～認知症対策を考えながら～」

講 師：弘前市医師会介護保険委員会 副担当理事

すとうクリニック 院長 須藤 武行 先生

4) その他

- ・ 市民向け出前講座（高齢者大学や地域包括支援センターと協働等にて実施）
- ・ 各種団体からの依頼の都度対応
- ・ 希望に応じて各病院の医局会への出前講座等を実施